

西南日本の深部低周波微動・短期的スロースリップ活動 (2006年11月～2007年2月) その2

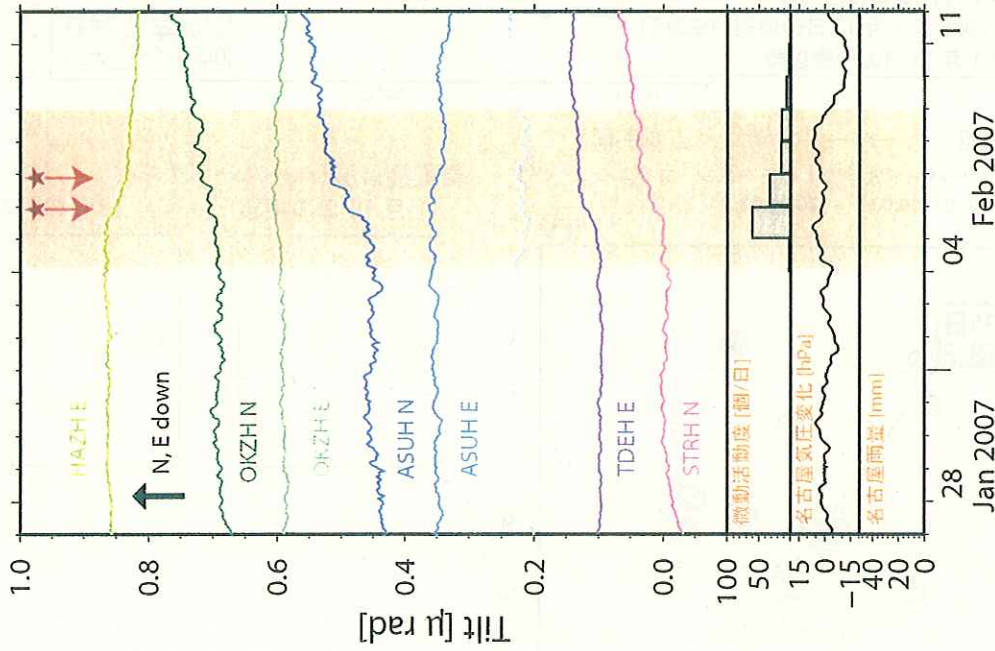


図2-1. 2007年1月29日～2月11日までの防災科研の観測点の特徴的傾斜時系列. 表示している観測点は図3に示しており, 矢印上方向は北・東下がりを示している. BAYTAP-Gにより潮汐・気圧成分を取り除き, トレンドを除去した記録を示している. なお, 気圧の除去に際しては, 名古屋気象台の観測値を使用している. 合わせて微動活動度および名古屋気象台の気圧および雨量を表示した. また, 超低周波地震の発生したと思われる時刻を星印で示している.

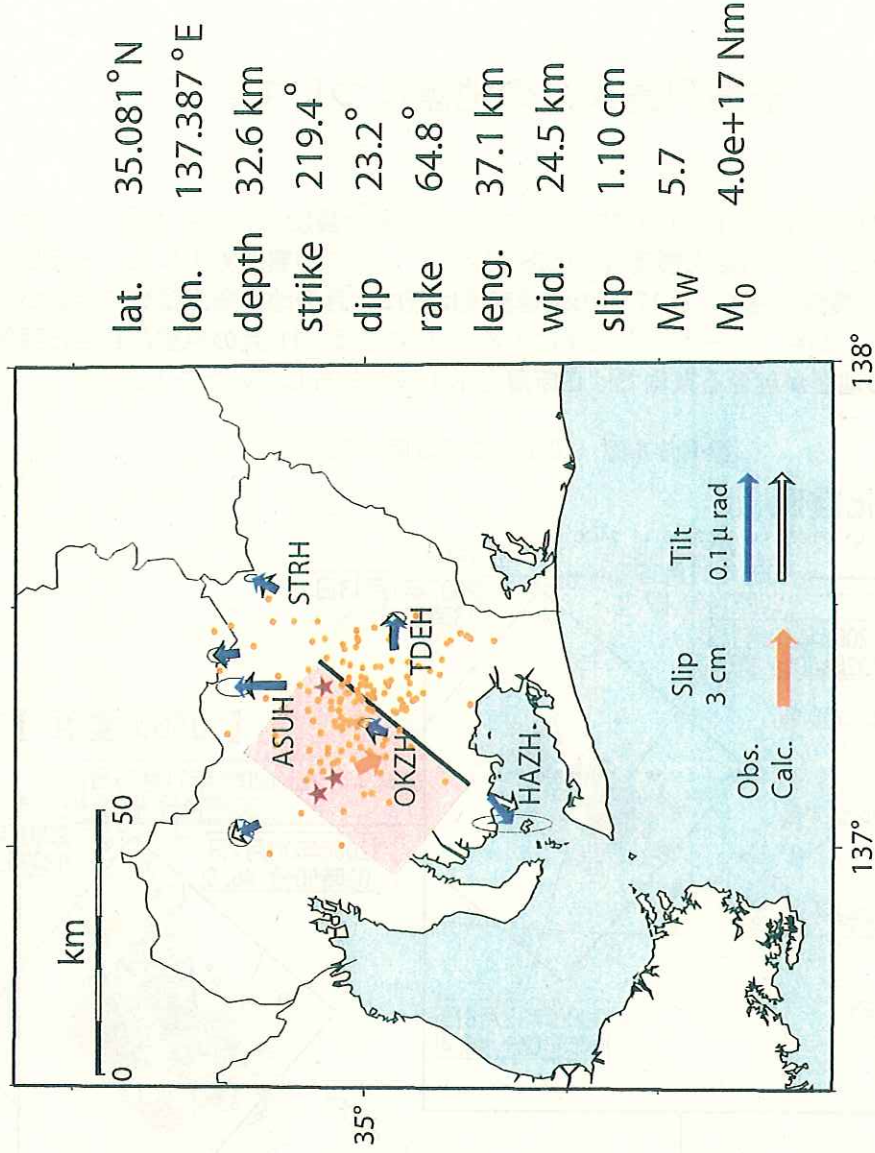


図2-2. 観測された傾斜変化ベクトル (青矢印), このデータから推定された短期的スロースリップイベントの断層モデル (赤矩形, 赤矢印), モデルから計算される傾斜変化ベクトル (白抜き矢印). 橙色の点は2007年2月4日から9日までに発生した深部低周波微動の震央位置を示し, 茶色の星印は同期内に推定された超低周波地震の震央位置を示している.

謝辞: 気象庁の Web ページ上で公開されている気象データを使用させて頂きました. 記して感謝いたします.